

今後の市民協働事業提案制度について

1. 前回の推進委員会でのご意見・ご提案まとめ

- ①個人でも応募できるようにする。
- ②お金なしでもできることを検討。
- ③書類の簡素化。
- ④提案制度のハードルが高い。
- ⑤何が協働になるのか分かりにくい。
- ⑥計画がなくても言ってみる、してみたいということを発信してみるという方法もある。最初エントリーシートに概要だけ書いてもらい参加表明をしてもらう形はどうか。

2. ご意見を踏まえた主な変更のポイント

- (1) 提案制度の本提案に向けたアイデアシートの募集をする。
 - ①個人でも応募できる！…ご意見①
 - ②簡単なアイデアシート…ご意見③⑥
 - ③期間は随時…ご意見④⑤
- (2) 協働事業につなげるための団体支援を行う。…ご意見④

3. 変更のポイントを踏まえた具体的な（案）

- ★従来の提案制度はそのままに、まずは間口を広げるために、幅広くアイデア募集！
- ★制度をより安定的継続的なものとなるよう、従来の提案制度及び財源を見直す検討を始める。

- (1) 提案制度の本提案に向けたアイデア募集をする。
 - ・市民活動センターが中心となって他の団体や関係課のコーディネーター等を行い、協働事業提案へとつなげる。
 - ・アイデア提案は、個人でも団体でもOK！今まで個人での提案できる制度はなかったので、個人でも受付し、企画が良いものであれば、広報誌などで団体や賛同者を募る。（審査部会の審査。）
- (2) 協働事業につなげるための団体支援を行う。
 - ・提案事業につながるよう、団体支援のための講座提供やコーディネーター、専門家支援等を行う。
- (3) 提案制度をより柔軟な制度となるよう検討する。
 - ・提案制度をもっと柔軟なものにするため、従来の提案制度を見直す検討を始める。
- (4) 安定した財源を基に、制度を継続的に行えるよう検討する。
 - ・基金やふるさと納税などとの連携を考え、財源を確保できるような形の検討を始める。